

令和4年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市甲斐の国大和自然学校				検証日	令和5年7月3日
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	大村 山治	作成者名	小澤 龍司
	指定管理者	名称	株式会社 フィッツ				
		代表者	代表取締役 清水 正倫				
		所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
		指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野116番地				
		設置目的	地域産業の振興を図るため、農業と自然を活用した都市との交流施設として、甲斐の国大和自然学校施設を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	10名	開館日時間等	一日使用(5月~9月) 9:00~17:30 (上記以外) 9:00~16:30 宿泊使用 13:00~10:00 (毎週月曜日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)自然学校施設の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。 (2)自然学校施設使用料徴収事務に関すること。 (3)自然学校施設利用料の徴収事務に関すること。 (4)施設利用あたってのサービス、指導に関すること。 (5)その他の日常業務			(6)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (7)備品等の維持、管理及び修理(大規模な購入及び修理は除く)。 (8)その他施設の管理に関すること (9)業務の報告		
自主事業	(1)「子ども自然塾」の開催など子供向け事業の実施 (2)市内外からの合宿誘致 (3)青少年育成事業の充実						

管理運営コスト推移(千円)		令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	令和5年度(指定期間5年目)
予算	指定管理料	10,800	10,800	10,800	10,800	
	利用料金収入	22,505	22,550	10,850	9,650	
	その他収入	7,500	9,100	6,050	8,550	
	管理運営経費	41,650	42,450	27,700	29,000	
決算	指定管理料	10,800	10,800	10,800	10,800	
	利用料金収入	21,995	2,436	4,965	14,144	
	その他収入	9,819	5,926	9,832	13,614	
	管理運営経費	42,226	24,875	31,272	36,617	
	収支	388	-5,713	-5,675	1,941	
減収補填			2,856	2,837		
施設の稼働状況		令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	令和5年度(指定期間5年目)
指標	施設利用者数(人)	9,916	2,582	4,716	8,510	
活動結果		・コロナ禍の中でも利用者は前年比3,794名の増加と回復しており、中山間を生かした自然体験や、スポーツ団体への合宿誘致など、指定管理者ならではの取組等の経営努力により1,941千円の黒字経営となった。一方で、地元人材の雇用や、地元の食事処やレジャー施設の活用といった地域に根ざした活動については課題が残る結果となった。				

評価観点	評価(5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
(1)事業の運営	3	・協定書通りに適正に管理運営が行われた。 ・自主事業を積極的に実施し利用者数を増やすなど事業の努力を行った。 ・スポーツ団体への合宿誘致など、指定管理者ならではの取組が行われた。 ・施設の設置目的にある「地域産業の振興を図る」ための取組については課題が残る結果となった。
(2)施設の維持管理	2	・日常点検、法定点検を実施していたが、受水槽の事故が起こり、水道水を確保するために、市の給水車で臨時的に対応する事象が発生してしまった。
(3)収入支出	3	・物価高騰等の影響は受けたものの、自主事業などの経営努力により1,941千円の黒字転換ができた。
(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)	
優良 良好 妥当 要改善 不適	要改善	・コロナ禍の中でも経営努力などにより集客を増やし、黒字転換を行うことができた。一方で受水槽の故障などの、施設の維持管理に支障をきたしてしまう事象も発生してしまった。受水槽に限らず、施設全体が老朽化しているため、日常点検の中で異常を見逃さないように取り組んでいただきたい。

評価結果に対する施設所管課の対応	
当面の課題	・受水槽や温水発生機、空調設備、施設の老朽化に伴う建築是正工事など施設の健全化に要する費用が膨大となり、指定管理継続に向けても影響を及ぼしている状況。 ・中山間を活かした自然体験や、スポーツ団体への合宿誘致など、指定管理者ならではの取組は行えているものの、地元人材の雇用や、地元の食事処やレジャー施設の活用など、地域に根ざした活動を行うことが出来ていない状況。
課題解決への対応	・施設全体の老朽化が進んでおり、地元人材の雇用や、地元の食事処やレジャー施設の活用など、地域に根ざした活動を行うことが出来ていない状況の中で、多額の費用をかけて健全化を進めることは難しいと判断した。施設の健全化が進まない限りは、指定管理継続は難しい状況であるため、令和5年度の指定管理者の募集は行わず、令和5年度をもって施設を休止とし、今後の活用方法を検討していく。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

・誘客宣伝や自主事業の実施等により、利用者が増加したことは評価できる。引き続き、自主事業等も行う中で、利用者の確保に努めていただきたい。
 ・市内の利用者が少なく、地元人材の雇用等もないことから、地元との関わりが薄いように感じる。
 ・物価高騰等により、経費も上昇したものの、前年度より収支を改善させることができています。
 ・受水槽の故障もあったが、施設全体が老朽化しているため日々の点検をしっかりとっていただき、令和5年度末の現指定管理期間中は安全に施設の利用ができるように努めていただきたい。